

加東市立滝野中学校

学校だより 若 鮎 10月号

令和元年 9 月 2 5 日 発行



力戦奮闘！史上最高の体育大会

学 校 長

9月14日（土）、高く晴れ渡った秋空のもと、第46回体育大会を開催することができました。当日はたくさんの来賓、保護者、地域の方々にご来校いただき、生徒たちに温かいご声援を送っていただき、ありがとうございました。

今年は9月に入ってから再度夏が来たかのような暑い日が続きました。生徒たちはそんな暑さにも負けず練習に取り組んできました。今年のスローガンは「力戦奮闘～仲間と共に挑み、さらなる高みへ～」でした。仲間と培ってきた絆をさらに深め、お互いに切磋琢磨をして高め合い、最大限の力を出し切る体育大会にしたいという想いが込められていました。また、生徒たちは日頃の練習の時から「史上最高の体育大会をつくりたい」という言葉をよく言っていました。



まさに今年の体育大会は“史上最高”の体育大会になりました。何よりも入場行進のときの生徒たちの迫力ある行進は圧巻でした。来賓の方々も生徒たちの威勢のいい行進には感動されていました。私も指揮台の上から見ていましたが、全校生徒が一斉に前進してくるときには、生徒たちの大きなかけ声と力強い足音で体が身震いしてしまいました。あんな感動は久しくありませんでした。

女子生徒全員による「滝中ソーラン」と男子生徒全員による「組立体操」も最高の演技になりました。滝中ソーランでは、担当生徒たちが夏休み中に滝呼の方を講師に招き練習をしてきました。一人一人の真剣に踊っている表情や指先まできれいに伸ばしている姿はとてもよかったです。また、今年はオープニングの表現もととても工夫されていました。組立体操では、高い塔や大ピラミッドができない状況での演技になりましたが、全員が声と力を合わせてのラインピラミッドや人間起こしは迫力がありました。また、今年は集団行動も取り入れ、最後には見事に行進の交差を決めてくれました。

また、その他の学年演技等においても、クラスが一つにまとまり競技したり、応援したりする場面が頻繁に見られました。さらには、他のクラスの演技にまで熱い声援を送っている姿も見られ、まさにスローガン通りの体育大会になりました。

この成功の裏には、実行委員の生徒たちの頑張りがありました。“世界でたった一つの舞「花」を咲かせたい”“チーム滝野の底力を見せつけたい”“最終的には滝中生全員がつながり、クラスが違っていてもお互いを応援し、励まし合う体育大会にしたい”実行委員の生徒が書いた文章の一部です。実行委員の頑張りが滝中生の心をついにし、史上最高の体育大会を創り上げてくれました。

この体育大会で経験したことを次の若鮎祭や学習、学校生活につなげていきたいものです。

体育大会が終わった後、職員から感動的な話を聞きました。実行委員の生徒たちは毎日練習が終わった後、土で汚れている昇降口を清掃してくれていました。その姿を見ていた体育大会の練習にあまり参加できていない下級生の生徒が自ら昇降口の清掃をしてくれていたようです。実行委員の姿を見て、自分もみんなのために貢献したいと思ったようです。心温まる話でした。



学びを支え高め合う ～全国学力・学習状況調査結果より～

本年度の全国学力・学習状況調査は大きく分けて「教科に関する調査」と「生徒質問紙による調査」がありました。今年度から教科に関する調査が基礎知識と活用力を一体的に問う新形式に変更されました。また、教科も従来からの国語・数学に加えて英語が初めて導入されました。

1 教科に関する調査

【国語】平均正答率は全国平均をやや上回っている。

「国語への関心・意欲態度」や「言語についての知識・理解・技能」が比較的高く、さらにそれが生かされて「話すこと・聞くこと」「書くこと」の比較的高い結果につながっています。一方で「読むこと」に課題があります。「文章の展開を捉える力」「文章中に書かれている情報を整理する力」を高める授業づくりを進めていきます。

【数学】平均正答率は全国平均をやや上回っている。

質問紙の解答結果から、数学の勉強を肯定的に答える生徒の割合が高く、問題に対する無回答の割合も低く、意欲・関心が高いです。そのことがすべての領域において高い結果につながっています。特に「数学的な技能」は優れていました。ただ「図形」は全国平均レベルで課題として残りました。また、証明や記述で答える問題の正答率が低いことから、自分の考えを伝えたり、まとめを文章表現したりする活動にも力を入れていきます。

【英語】平均正答率は全国平均をやや上回っている。

数学と同様に英語の勉強を肯定的に答える生徒の割合が高く、意欲・関心が高いです。そのことがすべての領域において高い結果につながっています。特に「話すこと」「書くこと」の結果は良好でした。ただ、まとまりのある英語を聞いて必要な情報を理解したり、文と文のつながりに注意してまとまりのある文章を書いたりすることには課題があります。今後、メモを取る習慣を身に付けさせたり、英文を書く練習を継続的にさせたりしていきます。

2 生徒質問紙による調査 （「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」の合計割合）

（１）学習習慣や生活習慣	本校（％）	県（％）	全国（％）
自分で計画を立てて勉強している	58.1	47.7	50.4
新聞を週１回以上読む	14.3	14.6	12.7
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	81.2	76.3	78.0
毎日、同じくらいの時刻に起きている	96.4	92.2	92.8
（２）自己有用感・規範意識			
自分にはよいところがある	75.9	74.5	74.1
先生はあなたのよいところを認めてくれる	83.0	79.4	81.5
いじめは、どんな理由があってもいけない	92.9	95.2	95.1
学校の規則を守っている	96.4	96.8	96.2
（３）その他			
難しいことでも失敗を恐れず挑戦する	79.5	67.5	70.3
人が困っているときは進んで助ける	90.2	85.2	85.9
進んで地域行事に参加する	74.1	49.3	50.6
地域や社会をよくするために何をすべきか考える	49.1	34.6	39.4

生徒質問紙による調査は、昨年に引き続き高い数値がでています。これらは生徒たちの学びを支えるものであり、学力との相関があるという報告がされています。本年度は「自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合が例年よりも10ポイントほど高くなっていました。また、（３）の4項目が全国平均よりも高く、これまでの教育活動の成果が出ていました。課題としては新聞を読んでいる生徒が少ないことです。教科の中に新聞教材を取り入れていくことも検討していきます。これからは生徒たちの学びを支え高め合うために、家庭・地域とも連携しながら授業改善に取り組んでいきます。

10月の予定

7日（月）2年生「トライやる・ウィーク」開始 ～11日（金）

9日（水）1年生「わくわくオーケストラ教室」※弁当必要

22日（火）即位礼正殿の儀（祝日）

24日（木）～25日（金）中間テスト ※25日（金）3年生「デートDV講習会」